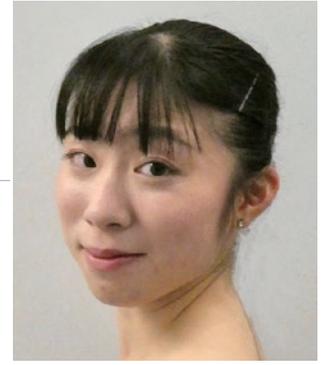




根本 涼香様

Suzuka Nemoto



洗足学園音楽大学に在学中に海外研修に参加したのが、海外のバレエに挑戦したいと思ったきっかけでした。最初の1年目はほかのバレエスクールに留学していましたが、2年目からはオーディションを経てビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)のBridge Programに入りました。

Bridge Programではバレエ、コンテンポラリーのクラス以外にもバレエの歴史、栄養学、解剖学といったダンス以外でバレエに関連することを学びます。私の中で印象に残っているのはPersonal Developmentという進路指導のクラスです。このクラスではバレエ団のオーディションを受けるにあたって、バレエのレジメ、バイオグラフィーの書き方やオーディション用のビデオの作り方など日本のバレエスクールではあまり教わらなかったことを学び、そのクラスを通してメイクや自分に合ったファッショ

ン、写真やビデオの撮り方、編集の仕方とバレエ以外で自分をよく見せる大切さを学びました。そしていろいろな角度から調べ研究しました。とにかくどのクラスでも英語を書く、話すことがとても多いので追いつけるようにと今でもなるべく本を読むなど、英語の勉強を怠らないようにしています。特にCOVID(コロナ)で街がロックダウンされていた時は宿題などにレポートを書くことが多かった印象がありました。Ms. BellisをはじめMs. Turner, Mr. Pronger、先生方はとても丁寧で英語が第二言語の私たちでもわかりやすく、楽しく、時には厳しく、といつも素敵なクラスをして頂いています。先生方のクラスは私にとって刺激があり、先生のお話を理解したいと英語の勉強のモチベーションアップにもなっています。そしてビクトリアの街の中で接客業のバイトができるくらいに英語力がつ



きました。

ビクトリアの街はとても綺麗で歴史を感じるような建物がある素敵な街です。お洒落なコーヒーショップやカフェがたくさんあり、私はこの街に来てからすっかりコーヒーにハマってしまいました。そして美味しいものがたくさんあるのでつい食べ過ぎないようにいつも注意しています。ホストファミリーはとても親切な方々と一緒にステイしている子どもも仲良く生活しています。クリスマスではクリスマスミサやディナーに参加したり、みんなの予定が空いている週末の夜は一緒に映画を観たりと楽しく過ごしています。

VABはとても踊る機会が多く様々な経験ができます。そこで得た経験が今少しずつ自分の未来につながってきているのを感じています。最終学年の今、その経験が次にしっかりとつながる様にこれからも頑張っていきたいです。

